

正倉院文書と造寺司官人

日本史・仏教

やまもと ゆきお

山本幸男著 ▼A5判・上製函入・四九四頁・本体 一一、〇〇〇円十税

2018年6月刊行

正倉院文書と造寺司官人

山本幸男著

法藏館

正倉院文書の大半を占める写経関係の帳簿類から、安都雄足・佐伯里足・下道主・上馬養といった、当時の実務官人たちの活動内容を明らかにする。古代史研究者必読の書。

【目次】

序章 正倉院文書研究の視覚と方法——本書の梗概を通して——

第七章 造石山寺所の帳簿に使用された反故文書

I 安都雄足

第一章 造東大寺司主典安都雄足の「私経済」
第二章 天平宝字二年造東大寺司写経所の財政運用——知識経写経所別当の錢運用を中心に——

付論2 反故にされた万葉仮名文書
第八章 奉写御執経所・奉写一切経司関係文書の検討——伝来の経緯をめぐって——
〔別篇〕 日中比較研究と正倉院文書

II 写経所をめぐる人々

第三章 市原王と写経所——舎人・「長官」・玄蕃頭時代の役割をめぐって——

あとがき
索引

第四章 正倉院文書に見える「鳥の絵」と「封」——写経所案主佐伯里足の交替実務をめぐって——

付論1 天平宝字年間における経師・装潢・校生の動向

第五章 正文に転用された反故文書

III 下道主と上馬養

第六章 造石山寺所の帳簿——筆跡の観察と記帳作業の検討——

◆著者略歴

一九五三年、大阪に生まれる。一九七六年、岡山大学文学部史学科卒業。一九八四年、大阪市立大学大学院文学研究科後期課程単位取得退学。二〇〇〇年、博士(文学)。現在、相愛大学人文学部教授。
著書に、『写経所文書の基礎的研究』(吉川弘文館、二〇〇二年)、『奈良朝仏教史攷』(法藏館、二〇一五年)、『続日本紀』一〜四(共著、東洋文庫・平凡社、一九八六年〜一九九二年)など。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
山本幸男著	
法藏館	
ISBN: 978-4-8318-6243-3 C3021	本体 一一、〇〇〇円十税
正倉院文書と 造寺司官人	住所
お名前	お電話

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp